



2023年11月10日

各 位

会社名 株式会社 スズケン
代表者名 代表取締役社長 浅野 茂
(コード番号 9987 東証プライム市場、名証プレミア市場、札証)
問合せ先 執行役員グループ企画本部長
山本 裕一
(TEL. 052-961-2331)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針の策定ならびに 中期経営計画・株主還元方針の改定に関するお知らせ

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を策定するとともに、本方針と連動して中期経営計画および株主還元方針を改定することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 現状分析

当社のPBR（株価純資産倍率）は2023年3月期末の0.67倍から、2023年9月中間期末においては0.89倍と上昇傾向にあるものの、なお1倍を下回っている状況が続いております。

主な要因は、前期実績ROE（自己資本利益率）が4.9%で終了した影響が大きいものと認識しておりますが、当社グループを取り巻く医療および医薬品産業の事業環境は薬価の頻回改定など医療費抑制のための様々な施策が推進されており、予断を許さない状況が続くものと推察しております。

2. 対応方針

当社は、本年5月に2023年4月から2026年3月末までの中期経営計画「For your next heartbeat ～未来に向けた鼓動を創ろう～」を発表し推進しておりますが、改めて持続的成長と更なる企業価値向上に向けた検討を重ね、当社の資本コストおよび収益性に関する現状分析や評価の見直しなどを行ってまいりました。

厳しい環境変化へ適応していくためにも、医薬品卸売事業をコア事業とする事業体から健康創造事業体への転換を早期に実現し、「既存事業の構造改革」と「新規事業の創出（新領域へのチャレンジ）」を両利きで実践することで、安定した収益の確保に加え、新しい利益を獲得できる新規事業をいち早く創出していくことが重要であると考えております。

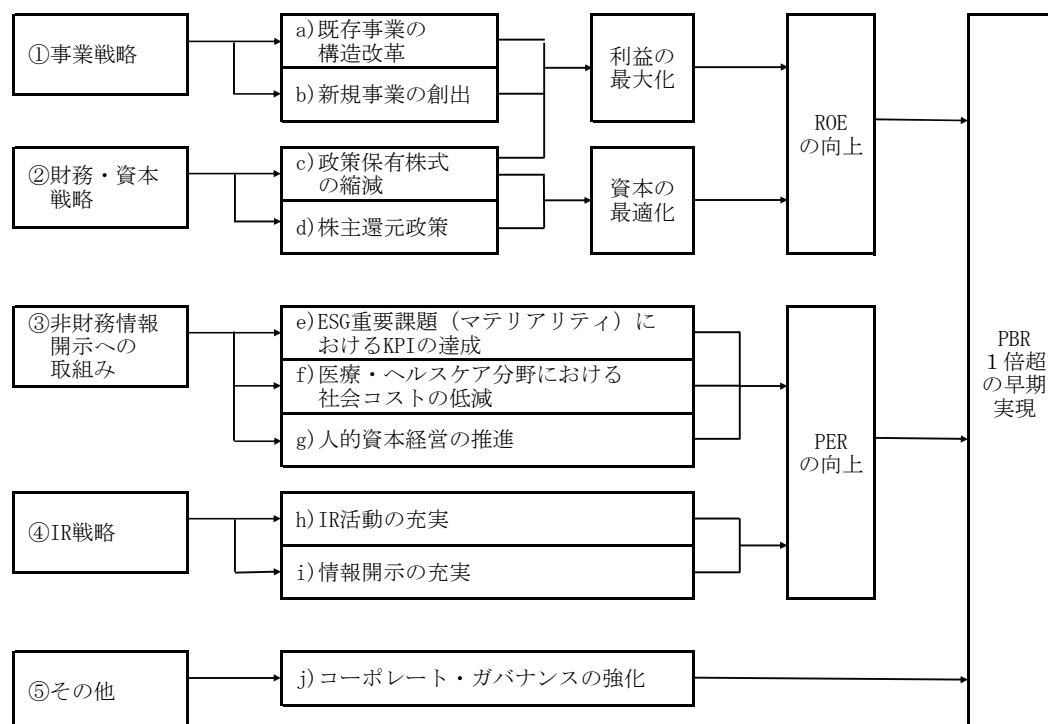
併せて、政策保有株式の縮減や株主還元の強化、将来的には適切な負債の活用を視野に入れたバランスシート改革も実施していくことでROEの向上を実現し、更には非財務情報の開示充実やIR活動の強化など、PER（株価収益率）向上に向けた取組みの強化を図ることで、PBR1倍超の早期実現へ繋げてまいりたいと考えております。

3. 目標および具体的な取組み

(1) PBR 改善に向けた目標とする指標

- ・中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）においては各年度とも ROE 5%以上（資本コスト以上）※ 現在の当社資本コストを5%程度と推計
- ・創立100周年（2033年3月期）までに ROE 8%以上達成

(2) 具体的な取組み



①事業戦略

「既存事業の構造改革」と「新規事業の創出」を両利きで実践していくとともに、事業ポートフォリオの最適化に向けて適宜見直しを図ることで、利益の最大化を図る。

a) 既存事業の構造改革

- ・様々なデジタルツールやサービスの活用により、バックヤード機能の拡充と効果・効率的な営業体制を構築し、サステナブルな社会インフラ基盤を確立する。

b) 新規事業の創出

- ・協業企業とのアライアンスやDX基盤の確立による情報ビジネスの収益化と、患者さまニーズを起点とした「デマンドチェーン」発想での新事業に挑戦する。

※投資：事業の継続・拡大に資する設備投資や事業投資を、必要性和採算性の軸で検討を進め実施する。

②財務・資本戦略

適切な株主還元と負債の活用も検討しながら、最適資本構成の実現を目指す。

c) 政策保有株式の縮減

- ・2025年3月期までに連結純資産額の10%以下とし、中長期的には更なる縮減を推進

d) 株主還元政策

- ・安定的な配当水準の向上を重視し、機動的に自己株式の取得を実施

③非財務情報開示への取組み

ESGやSDGsに関して社会的要請・関心の高まりへ対応するとともに、ステークホルダーと協働し、事業を通じたサステナビリティ課題に取り組む。

e) ESG重要課題（マテリアリティ）におけるKPIの達成

- ・CO2削減をはじめ、グループ一体でサステナビリティ経営を推進

f) 医療・ヘルスケア分野における社会コストの低減

- ・サプライチェーン全体の流通在庫の可視化・最適化による医薬品廃棄ロスや環境負荷低減への貢献

g) 人的資本経営の推進

- ・次世代リーダーおよびDX人材の育成

④IR戦略（株主・投資家とのコミュニケーション）

株主・投資家の皆さまとのオープンなコミュニケーションを重視し、対話の機会を増やすことで、中長期的に当社グループを支援いただける投資家との関係を構築する。

h) IR活動の充実

- ・国内外機関投資家向けIR活動の強化

i) 情報開示の充実

- ・ホームページ、統合報告書、英文開示などの充実

⑤その他

持続的成長と企業価値向上の施策の実行を監督可能な適切なガバナンス体制の強化。

j) コーポレート・ガバナンスの強化

- ・社外取締役や各種委員会メンバーの独立性の一層の強化

4. 中期経営計画の改定について

本方針に基づき、下記の通り中期経営計画を改定しております。(※変更点は下線部)

<改定前>

【主要財務指標】

項目	期間	目標
ROE	<u>2026年3月期</u>	資本コスト以上の水準
営業利益率	2026年3月期	連結：1.5%以上 *卸売セグメント：1.0%以上
投資	3カ年累計	1,000億円以上
株主還元	<u>各年度</u>	安定的な配当の継続 総還元性向 <u>80%以上</u>
政策保有株式の縮減	<u>2026年3月期末</u>	連結純資産額の10%以下

<改定後>

【主要財務指標】

項目	期間	目標
ROE	<u>各年度</u>	<u>ROE 5%以上</u> (資本コスト以上の水準)
営業利益率	2026年3月期	連結：1.5%以上 *卸売セグメント：1.0%以上
投資	3カ年累計	1,000億円以上
株主還元	<u>3年間平均</u>	安定的な配当の継続 総還元性向 <u>100%以上</u>
政策保有株式の縮減	<u>2025年3月期末</u>	連結純資産額の10%以下

5. 株主還元方針の改定について

本方針に基づき、下記の通り株主還元方針を強化しております。(※変更点は下線部)

<変更前>

当社グループは、安定的な配当の継続を基本とし、中期経営計画「For your next heartbeat～ 未来に向けた鼓動を創ろう～」の最終年度である2026年3月期までの3年間において、総還元性向 80%以上の株主還元を実施いたします。

株主還元の充実を図るとともに、既存事業の強化や新規事業の創出に向けた投資を行うことで企業価値と資本効率の向上を目指してまいります。

<変更後>

当社グループは、安定的な配当の継続を基本とし、中期経営計画「For your next heartbeat～ 未来に向けた鼓動を創ろう～」の最終年度である2026年3月期までの3年間平均において、総還元性向 100%以上の株主還元を実施いたします。

株主還元の充実を図るとともに、既存事業の強化や新規事業の創出に向けた投資を行うことで企業価値と資本効率の向上を目指してまいります。

本対応方針等に関する詳細は決算説明会の資料に記載されており、2023年11月13日(月)10:30より当社ホームページからダウンロードいただけます。

(<https://www.suzuken.co.jp/ir/library/explanation/>)

以上